

助成活動実績報告書

企画名	『千年の森・美咲の森の管理・保育と森に感謝のつどい(学校・地域)の開催、棚田・竹の活用』
団体名	『千年の森づくりグループ』
<p>①. 活動の目的について</p> <p>美咲町は、過疎・限界地区が、境地区だけでなく、全般で、人口が減少。随所に、耕作放棄の田畑が増え、街中でも空き家が増えてきています。山間部は、孤立し、草、ささ、竹が繁茂し、藪化し、危険な状況が増えています。緑化公園、美咲中央小周囲の境地区、錦織神社周囲は、管理がとどかず、千年の森は、10年かけて、保育管理、植樹をしてきました。台風23号・平成16年の風倒木災害、開発で、保安林が、根こそぎ削除されました。美咲中央小、加美小、町民、ボランティア活動—千年の森づくりグループが、企画、予算を確保して、森の創生・再生・保全・保育、植樹の取り組みをしてきました。</p> <p>やすらぎの森は、10年、美咲中央小の生徒、全県の子供、地球温暖化防止活動推進員、おかやま環境カウンセラー協会、美咲町職員、美作県民局職員、美咲警察署、国、県、美咲町議員などの支援をいただてきました。又、学校でも総合学習、よみきかせなどで、生徒とも学習支援をしてきました。境地区の暴走竹も資源とみて、活用、削除も考え、堆肥化を推進しています。生徒・先生・地域の絆づくりをすすめています。</p>	
<p>②. 内容について</p> <p>おかやま環境ネットワークの協働事業で、多くの支援・ご指導をいただてきました。千年の森づくり、再生の10年の事業は、絆の大切なことが理解されだしています。阪神、東北大震災をへて、住民の理解がふかまりました。必要な機材の購入、堆肥、苗木の購入により、この10年で、千年の森は、禿山から、タネから5～7mにも木々が大きく成長してきました。森の創造、管理・活用を目指して、『こども緑少年隊』のたちあげが準備されています。これまでに、1,000人のこども、500人のボランティアが取り組みにご参加いただきました。近くは、2013・2014年度、蜂谷工業も社長ほか10人がボランティアでも参加いただています。今年が、記念の植樹に50人、水辺の生物調査に50人、森の集いに、3回で500人がご参加いただきました。境の棚田の畦への記念の植樹も200本、タネの粉碎・堆肥化も3回開催できました。おかやま環境ネットワークの助成のおかげです。美作国1300年事業、『鎮守の森創生』事業は、2000平米の森が誕生、笹藪除去、雑木処理、記念植樹で、みごとな鎮守の森が完成。グリーンカーテン事業は、生徒の自主的な事業を支援できました。</p>	
<p>③. この活動によって達成された成果 これまでの、活動の総括と、今後の事業</p> <p>やすらぎの森：熟成された10年目の森は、小鳥の森として、管理堂の管理・保全。広葉樹の枝打ち、「すみづくりの活動の体験」を企画推進します。森林セラピーの拠点です。</p> <p>美咲の森：100,000平米、多様な、森の活用～遊歩道、森林セラピー。キャンプ可能な整備。生徒の、記念の植樹、昆虫公園化すすめます。</p> <p>境の棚田：田畑の管理をしつつ、活用の希望者を、受け入れます。畦には、桜、実が実木地を植樹します。竹は、資源として活用します。</p> <p>鎮守の森：1450年前の、錦織神社の森の再生をスタートさせれました。2,000平米の森が明るく開けました。</p>	
<p>④. 今後の課題展望について</p> <p>千年の森は、遅れていた過疎・限界集落に森が誕生し、あけてきました。今後は、ボランティア団体から、地元の皆様が立ち上がるように、取り組みを改善してゆきます。PTA、学校、建設業協会、美咲町職員、美咲町中央小・中学生の参加を呼びかけ、こども緑の会(仮称)もたちあげてゆきます。</p>	